YAMAHA	PAS チャイルドシート（リア用） 組付・取扱説明書	適応機種 PAS ラフィーニ （PZ26RM）他

はじめに

◘お 客 様 へ

お買い上げ誠にありがとうございます。
本書には商品の正しい組付方法と注意事項について説明してあります。商品を正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、ご不明な点は販売店にお問い合わせください。
本製品は、自転車に関する整備上の一般的な知識および技能を有する方（販売店、整備業者）が組み付けることを前提としております。それ以外の方が組み付けを行うと知識不足、技能不足のため、トラブル、機械破損などの原因となることがありますので、販売店に組み付けを依頼してください。本書は、自転車の取扱説明書および本品の取付に際して取り外した部品と一緒に保管してください。自転車を譲られるときは、この説明書もお渡しください。

◘販売店様へ

本製品の商品説明および取り扱い上の注意点を、お客様に充分ご説明いただくようお願い申し上げます。
本書および本品の取付に際して取り外した部品は、必ずお客様にお渡しください。

本書では正しい組み付け、取り扱いに関する事項を下記のシンボルマークで表示しています。

⚠警 告 **取扱いを誤った場合、死亡または重傷及び傷害に至る可能性が想定される場合を示してあります。**

注 意 **取扱いを誤った場合、物的損害の発生が想定される場合を示してあります。**

要　　点 正しい取扱方法や、作業上のポイントを示してあります。

注　意　事　項

⚠警 告

自転車にチャイルドシートを組み付けてお子様を乗せることにより、自転車のハンドル操作性や走行安定性が低下します。
また、制動操作時に制動距離が長くなりますのでご注意ください。

①お使いになれる（乗せられる）お子様

- 自転車に装着されているリアキャリアの仕様（強度区分）により異なります。

リアキャリアの仕様	お使いになれるお子様
MAX25kg表示（クラス25）	1才以上、体重20kg以下、身長115cm以下 ※1
MAX18kg表示（クラス18）	1才以上、体重13kg以下、身長100cm以下
MAX10kg表示（クラス10）	使えません　（キャリアの強度が足りないため）

※1：SGマーク認定基準による表示です。
※お子様の適正年齢について：シートベルトは装着されていますが、体格には個人差がありますので、ハンドルグリップを握れる2才以上が安心です。

②組付可能自転車

24インチ以上、28インチ以下のシティ車（婦人用軽快車）です。ただし、以下のことを確認してください。

- 自転車の取扱説明書を参照して、装着キャリアの強度区分などを確認し、組み付けを禁止している自転車やキャリアには組み付けないでください。また、取扱説明書に記載がない場合には販売店にご相談ください。
- 組み付けには、幅150mm以上のリアキャリアが必要となります。
- 運搬用の実用車などに装着されている特別な形状のリアキャリアには、組み付けできません。
- シティ車に標準装備されているリアキャリアは、MAX18kg表示が一般です。上表の使用範囲を必ず守ってください。
- 体重13～20kgのお子様を乗せる場合は、MAX18kgのリアキャリアでは強度不足になりますので、MAX25kg表示のリアキャリアを装着する必要があります。ただし、MAX25kg表示のリアキャリアを装着する場合は、自転車の強度が耐えられるか取扱説明書で確認してください。
- 小さい自転車ほど組付位置に制限ができたり、使用したときに安定性が低下します。ご注意ください。
- 必ずロック付きの両立スタンドの自転車をご使用ください。1本スタンドやロックのないスタンドの自転車には使用しないでください。
- 足の巻き込み防止のため、ドレスガードを必ず組み付けてください。
- 普通の自転車に組み付けできるチャイルドシートは自転車1台につき1つです。
- 3人乗り（幼児2人同乗）自転車に組み付ける場合は、販売店に相談してください。または、自転車の表示や取扱説明書を確認し、このチャイルドシートが指定されている自転車か確認してください。

⚠ 警 告

③組付時

より安全にご使用いただくために、お買い上げいただいた販売店に組み付けを依頼することをお勧めします。
- 普通の自転車に組み付けることができるチャイルドシートは1つです。
- 自転車のリアリフレックスリフレクタが後方から視認できることを確認して、組み付けてください。
- できるだけキャリアの前方に組み付けてください。キャリアの後方に組み付けると、走行の振動などで破損する恐れがあります。
- ペダルをこいだときに、カカトなどが触れない位置に組み付けてください。
- 走行中に後輪錠が作動すると危険です。自転車の後輪錠に、お子様の手足が届かないように組み付けてください。
- 組付時は、ネジやナットを確実に締めてください。
- ドレスガードやロック付きの両立スタンドを必ず組み付けてください。

④使用時

- チャイルドシートが確実に組み付けられていることを確認し、破損・変形等したまま使用しないでください。少しでも異常を感じたときは使用を中止し、販売店にご相談ください。
- お子様にはヘルメットを着用させて使用してください。ヘルメットを着用させないで幼児座席にお子様を乗せると、事故時に致命的な傷害を受ける恐れがあります。また、運転者もヘルメットを着用されることをお勧めします。
- お子様は荷物よりも後に乗せ、最初に降ろしてください。
- チャイルドシートは直射日光をさけて駐輪・保管し、雨ざらしにしないでください。
- お子様には必ず靴を履かせてください。
- 肩ベルト・股ベルトを必ず使用してください。
- 肩ベルト・股ベルトが車輪に巻き込まれないように注意してください。
- お子様の首に肩ベルトがかからないように注意してください。
- お子様にグリップをしっかりと握らせてください。
- お子様を乗せるときには必ず正しい姿勢になっていることを確認し、足が車輪に巻き込まれることのないように注意してください。
- 短時間であっても、お子様を乗せたまま自転車から手を離さないでください。自転車が倒れてお子様がけがをする恐れがあります。
- お子様が眠らないように注意してください。
- 普通の自転車に同乗できるお子様は1人です。また、3人乗り（幼児2人同乗）自転車に同乗できるお子様は2人までです。それぞれ使用できるお子様の年齢、体重及び身長の範囲を守ってください。
- 走行中に、お子様が後輪錠を操作しないように充分注意してください。
- 傘を差しながらの走行はしないでください。
- 段差のある場所では、お子様を乗せたまま走行しないでください。
- 使用にあたっては交通法規を守ってください。
- 本体、足乗せ、ヘッドレストの組み付けネジ等が確実に締まっているか、日常点検をしてください。
- ヘッドレストは必ず適正な高さに調整してご使用ください。
- お子様が1人でチャイルドシートを乗り降りしないように注意してください。自転車が倒れて、お子様がけがをする恐れがあります。
- この商品はSGマーク認定基準を満たしていますが、大きな衝撃が加わると破損・変形・クラック等が発生することがあります。一度でも大きな衝撃を受けた場合は使用をやめ、充分に点検をしてください。また、販売店に点検を依頼してください。
- リアキャリアにチャイルドシートを組み付けてお子様を乗せると重心が後側に移動し、自転車の前側が浮き上がことがあるのでご注意ください。また、充分に慣れて、安全に運転できることを確かめてからご使用ください。

組　付　方　法

1 足乗せを組み付ける

足乗せは本体から外れにくいように、「知恵の輪」のような組み付けになっております。
このため、同梱の紙片 **注意！ 必ずお読みください** も参照して組み付けてください。

1. 足乗せを横に傾けながら、足乗せ板を本体プレート板の下に入れ込みます。（**図1・2・3**）
2. 傾きを戻しながら、フック部を本体の孔に差し込みます。（**図1**）
3. 足乗せ板と本体プレート板を**図2**のようにネジどめします。
4. ナイロンナットは、スパナ（10mm用）で押さえ、ネジをプラスドライバーで回し、締め付けます。

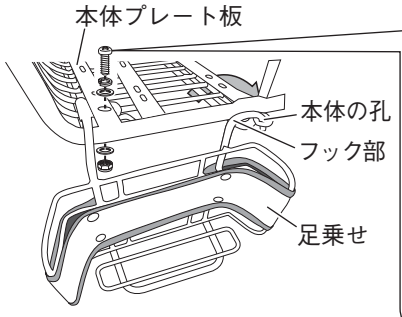

図1 ※イラストは車両左側ですが、右側も同様に組み付けます。

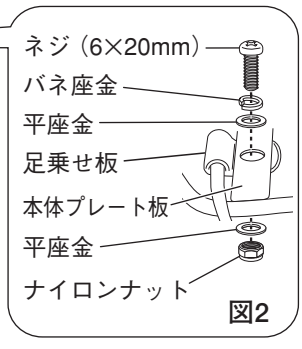

図2

注 意

足乗せ板は本体プレート板の下にくるように組み付けてください。上に組み付けると破損します。（図3）

◎ 正しい組付方　× 間違った組付方

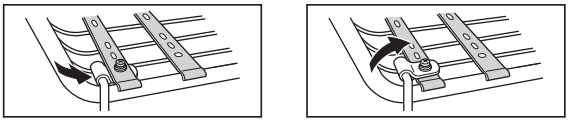

図3

要　点

ナイロンナットは（緩み防止のため）締め付けの途中で固くなりますが、最後まで締め込んでください。（**図2**）

2 チャイルドシート本体をリアキャリアに組み付ける

1. チャイルドシート本体をリアキャリアの上に乗せます。（**図4**）

⚠ 警 告

チャイルドシートをリアキャリアの後方に組み付けないでください。破損の危険や重心が不安定になる恐れがあります。必ずサドル側に近付けて組み付けてください。（図4）

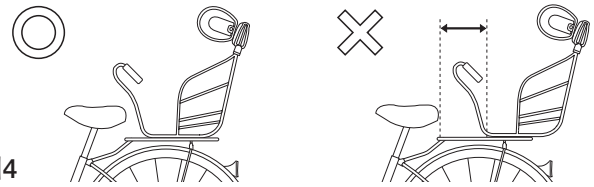

図4

2. 組付板をリアキャリアの下から、本体プレート板の孔に合うようにあてがいます。（**図6**）

⚠ 警 告

本体プレート板は4ヶ所ありますが、組付固定するのは2ヶ所です。自転車やキャリアの形状により、組付固定する本体プレート板を下記組み合わせよりお選びください。下記以外の本体プレート板の組み合わせをすると危険です。指定された組み合わせを必ずお選びください。
※適正な組み合わせ（図5）
ⒶとⒸ　ⒶとⒹ　ⒷとⒹ

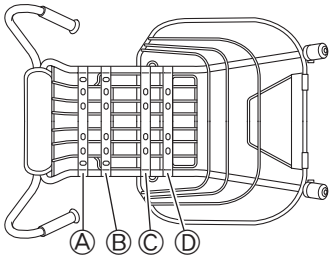

図5

3. 本体プレート板の孔に上からネジ類を差し込んで、組付板を固定します（組付板はネジ切り加工がされています）。（**図7**）

⚠ 警 告

本体プレート板、組付板の孔は1枚につき横列に4ヶ所開いています。図8を参考に、1枚につき2つの孔をお使いください。また、ネジは組付板の左右1ヶ所ずつ使用し、片側の2ヶ所だけでは使用しないでください。チャイルドシートの固定が不充分となり、思わぬ事故につながります。

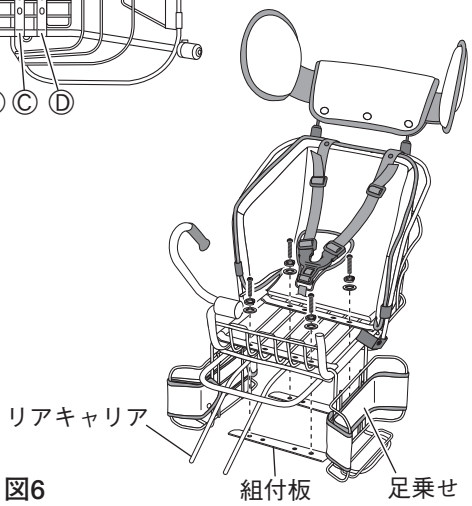

図6

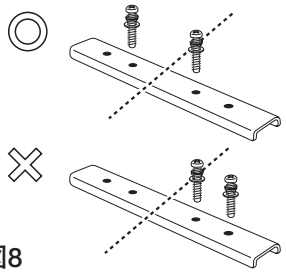

図8

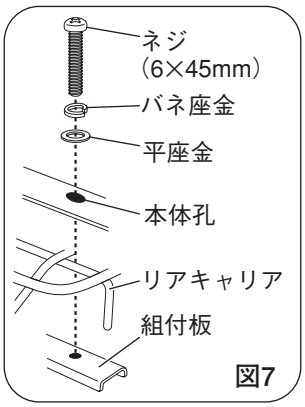

図7

3 ヘッドレストを組み付ける

⚠ 警 告

ヘッドレストはお子様の頭を守る大切な部品です。下記警告を必ず確認しながら組み付けてください。

1. 調整ネジを「ゆるむ」の向きに回して、緩めます。
2. 調整ネジ上部の孔に丸棒を差し込みます。
3. ヘッドレストの高さをお子様の頭に合わせて、調整ネジを「しまる」の向きに回して固定します。

⚠ 警 告

- **調整ネジは左右2ヶ所、確実に締め付けてください。（図9）**
- **ヘッドレストの高さ調整には上限があります。丸棒に限界位置の印があるので高くする場合は、調整ネジ上面から限界位置の印が出ないように調整してください。（図9）**
- **ヘッドレストは図10のように適正な高さに調整してお使いください。**

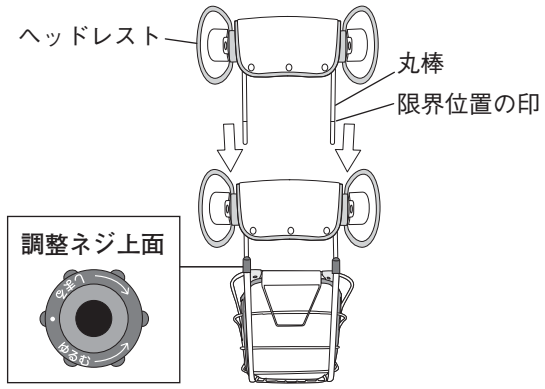

図9

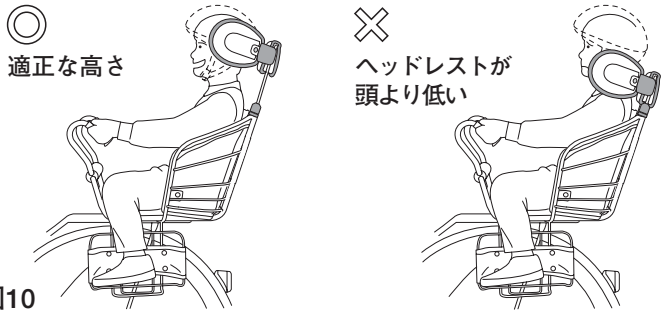

図10

4 シートを組み付ける

1. 股パッドとバックルをシート孔に通します。
2. シートを広げて本体ワイヤに巻き付け、ボタンでとめます。（**図11・12**）

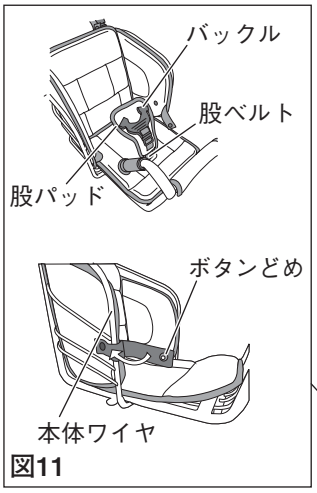

図11

図13

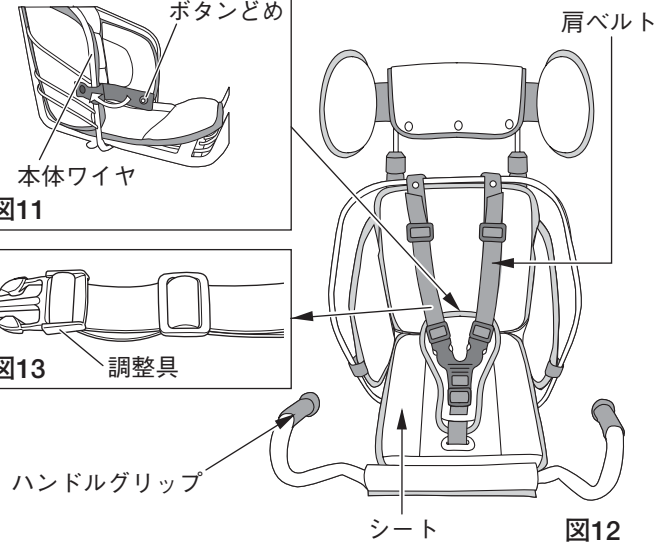

図12

5 シートベルトの使用方法

1. お子様の股の間に股ベルトがくるように着座させます。
2. 肩ベルトは、お子様の肩から股ベルト側に回し、バックルが「カチッ」と音がするまで差し込みます。
3. 肩ベルトの長さを調整具で調整します。（**図13**）

お問い合わせ先

■車体本体へのご質問は下の看板のPASショップまたは下記へお問い合わせください。

ヤマハ発動機株式会社
〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500

お客様相談室 0120-090-819

オープン時間：月曜～金曜（祝日、弊社所定の休日等を除く）9:00～12:00　13:00～17:00
携帯電話からはフリーダイヤルをご利用できません。0538-32-1166をご利用ください。

YAMAHA
ヤマハ発動機株式会社
〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500

●商品に関するお問い合わせ
株式会社ワイズギア　0570-050814（ゴーワイズ）
オープン時間　月曜～金曜（祝日、弊社所定の休日を除く）
9:00～12:00 13:00～17:30
◎一般の固定電話の場合、全国一律市内通話料でご利用いただけます。
◎IP電話や電話機の設定によってはご利用いただけません。
〒432-8058　静岡県浜松市南区新橋町1103番地　FAX.053-443-2187